

週報

Rotary



福岡中央
ロータリークラブ

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか



世界に希望を生み出そう

「CREATE HOPE in the WORLD」

2023-2024年度 国際ロータリー会長

R.Gordon R.McInally

「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」

国際ロータリー第2700地区

2023-2024年度 ガバナー 吉田 知弘

「再び動かす我らの歴史」

2023-2024年度 福岡中央ロータリークラブ

会長 怡土 順治 幹事 泥谷 高博

本日の例会 令和5年10月16日（第2047回）VOL.47 No.12

福岡中央エンジョイロータリー衛星クラブ
創立5周年記念 合同夜間例会
（灯明殿）

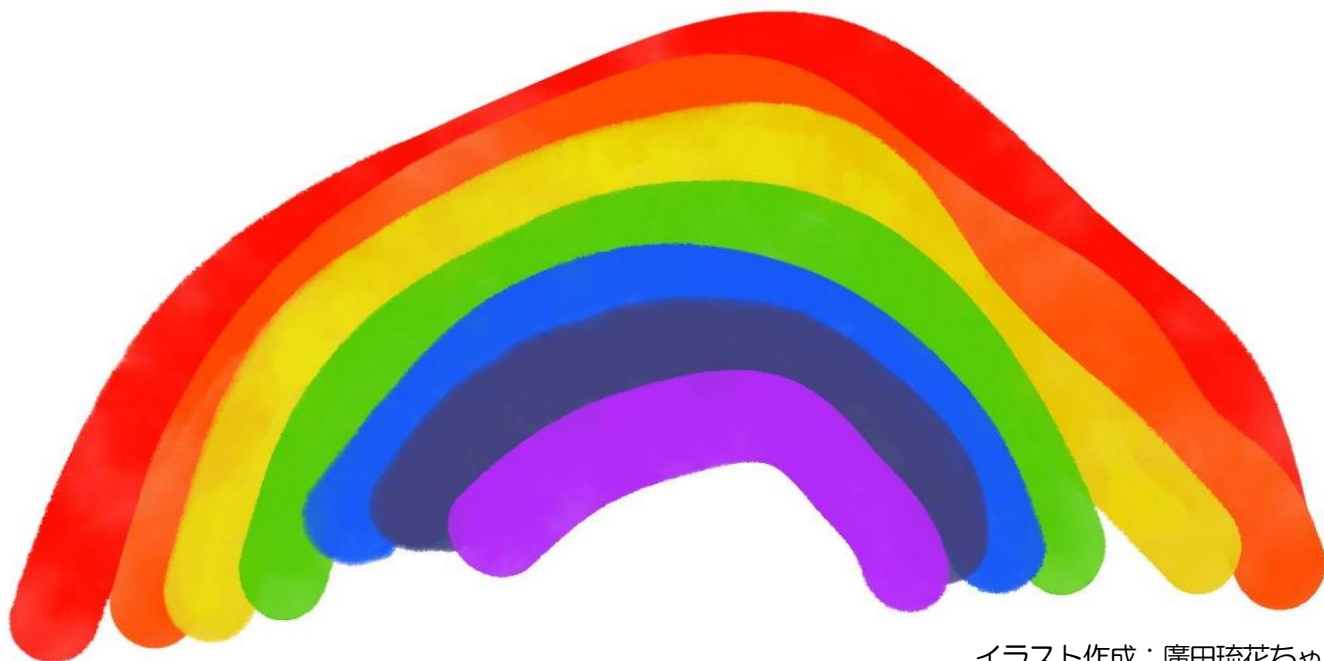
地域社会の経済発展月間・米山月間

今後の
例会予定

- ・10月23日(月) クラブ協議会(竹崎敏和ガバナー補佐)※各委員長以外は13時終了
- ・10月30日(月) 2023-2024ガバナー公式訪問/福岡県立図書館贈呈式
- ・11月 6日(月) クラブフォーラム

「希望の虹」

衛星クラブ創立から交流している医療的ケア児の廣田琉花ちゃん(中学3年)が創立5周年記念のお祝いに視線入力で描いた「虹」をプレゼントしてくれました。「多様性・公平さ・インクルージョン」(DEI)への取組みの象徴として、活動に活かしていきます。 衛星クラブ中川勝美



イラスト作成：廣田琉花ちゃん

例会日…毎週月曜日 12:30~13:30 例会場・事務局…西鉄グランドホテル

TEL 714-0305 FAX 714-0311 E-mail fukuoka-chuo-rc@wind.ocn.ne.jp HP <http://www.fukuoka-chuo-rc.jp>

前週例会の記録(10月2日)

出席報告

前回例会 10月2日		前々回例会 9月25日	
会 員 数	52名	会 員 数	51名
出席会員	44名	出席会員	38名
ビジター他	5名	修 正	5名
合 計	49名	免 除	2名
出 席 率	84.62%	修正後出席率	87.76%

-来訪者内訳-

卓話 岩井恵里香さん(福岡中央RAC)

福岡東RC1名・衛星クラブ1名・福岡中央RAC1名
例会見学 重松佳子さん 計 5名

ロータリーソング

清成 留美 ロータリーソング副委員長

・君が代 ・奉仕の理想

会長の時間

怡土 順治会長



10月になりました。すっかり朝晩は涼しくなってきました。運動するには非常に良い季節になってきましたね。さて本日の話ですが運動とは全く関係ない話をします。

ロータリークラブの奉仕は5大奉仕というものがあります。クラブ奉仕 職業奉仕 社会奉仕 国際奉仕 青少年奉仕です。この中の、国際奉仕事業に該当する米山記念奨学会について少し話をしようと思います。ちなみにロータリー財団も国際奉仕事業に該当します。今月は米山月間ということもありますので、後ほど次田 米山委員長からも話があるかと思いますが、ロータリーに私も約11年在籍していますが、いつもわからなくなるのが米山記念奨学会とロータリー財団です。まず、我々はこれらの事業に寄付をしています。クラブの食費代というのは1食約4,000円です。こちらを皆様の会費から支払いをしています。ただ先ほどのカレーライスは4,000円もしません。差額を年2回の米山ランチの時に米山記念奨学会に寄付をしています。こちらを普通寄付と呼んでいます。米山記念奨学会の寄付の方法はもう一つありまして、これは個人的に寄付をする場合(法人も可)、これを特別寄付と呼んでいます。たまに米山功労者の表彰がありますが個人からの寄付の場合、10万円で「第1回米山功労者」、2～9回目を「米山功労者マルチ

ブル(複数という意味)、10回目以降を「米山功労者メジャードナー」という呼び名になります。

一方ロータリー財団への寄付は先ほどのカレーライスでドルランチと呼んでいるものを一部財源にしています。そして同じく個人寄付もあり(法人も可)、1,000ドル以上寄付すると「ポール・ハリス・フェロー」と呼ばれ、年次基金・ポリオプラス・承認された財団補助金などに使われています。複数回以上寄付すると「マルチブル」と呼ばれます。財団の事を詳しく話すと時間がなくなるので来月のロータリー財団月間の時に詳しく話をするとして今日は割愛します。この米山ランチや特別寄付を財源に日本の大学に在学中の留学生に奨学金を支給している事業が米山記念奨学会というわけです。本年度の募集は610名。締切が2023年10月15日です。指定校推薦制度(約560キャンパス)をとっており、学業優秀・異文化理解、また申込書も本人が日本語で記入する事が求められています。指導教員からの推薦状・研究計画書・小論文「テーマ:なぜ、留学先に日本を選んだのか。日本留学を終えた後の将来計画」などを提出します。その後選考試験が12月初旬から翌年1月末の間にロータリー地区で行われます。そして3月末までに合格発表が行われます。奨学金は学部課程で月額10万円、修士と博士課程で月額14万円となっており、多くのクラブでは例会出席時に手渡ししているようです。これと似ているのが青少年交換プログラムです。こちらは対象年齢が少し下がり16～18歳。当クラブでは直近では2015-2016藤原会長年度にオーストラリアに穴井美弥さん、オーストラリアからIreland Dehnerさん、2016-2017出海会長年度にフランスに藤田咲さん、フランスよりDumont Bertilleさんを受け入れています。副会長兼幹事の泥谷さんのお嬢様も2010-2011古賀正隆会長年度の時に当クラブがスポンサークラブになったようです。こちらに関しては私が色々話すより泥谷さんからお話を聞かれたほうが良いかと思います。

さて、ロータリー米山記念奨学会の募集要項には「ロータリーとは」という項目があります。恐らく奨学金の申し込みを考えている意識の高い留学生はこちらを必ず読むはず。その一部を読みませう。「ロータリーとは…地域の人々の生活を改善したいという情熱をもって社会に役立つ活動に力を注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワークです。異なる職業の人々が地域でロータリークラブという会合を持ち、職業を通して社会の発展と国際平和に貢献することを目的に活動している団体です。1905年アメリカシカゴで発足し…」このように記載されています。

今月28日(土)には護国神社にて地区の大きなイベントがあります。後ほど張 社会奉仕委員長より説明がありますが、我々はそこでポリオの募金活動をする予定にしています。ぜひお時間のある方はお友達も誘っていただき、ロータリーを知ってもらい、そして募金活動をすることが、人々の生活改善の一助になりますのでご参加いただけると嬉しく思います。これで会長の時間は終わります。